

養護採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採点上の注意	配 点												
1	(ア)	学校保健計画			各 2 × 8	16											
	(イ)	環境衛生															
	(ウ)	学校薬剤師															
	(エ)	保健指導															
	(オ)	予防処置															
	(カ)	食中毒															
	(キ)	保健管理															
	(ク)	学校医執務記録簿															
1	数字	正しい語		数字と正しい語が ともに合っているも のだけを正答とする。	各 3 × 3												
	②	がん対策基本法															
	③	外部講師															
	⑤	第4期がん対策推進基本計画															
2	がんについて正しく理解することができるようにする		順序は問わない。 内容を正しく捉え ていれば、表現は異な っていてもよい。	各 3 × 2													
	健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする																
3	<ul style="list-style-type: none"> がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること。 がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であること。 がんは、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できること。 		2つ書かれていれ ばよい。 内容を正しく捉え ていれば、表現は異な っていてもよい。	各 4 × 2	26												
4	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん治療中の児童生徒 小児がんにかかったことのある児童生徒 家族にがん患者がいる児童生徒 家族をがんで亡くした児童生徒 がんに限らず重病・難病等にかかったことのある児童生徒 家族に重病・難病等の患者がいる児童生徒 家族を重病・難病等で亡くした児童生徒 		1つ書かれていれ ばよい。 内容を正しく捉え ていれば、表現は異な っていてもよい。	3													
3	項目	検診・検査	小学校			中学校			高等学校			検診・ 検査ごと に全部合 っている ものだけ を正答と する。	各 3 × 5	27			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年				1年	2年	3年
	聴力	オーディオメータ	◎	◎	◎	△	◎	△	◎	◎	△				◎		
	結核 の有無	問診・学校医による診察	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
		エックス線撮影									◎						
		エックス線撮影 ツベルクリン反応検査 喀痰検査等	○	○	○	○	○	○	○	○							
		エックス線撮影 喀痰検査・聴診・打診									○						

養護採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
3	2	本人の結核罹患歴	順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 6	
	本人の予防投薬歴				
	家族などの結核罹患歴				
	高まん延国での居住歴				
	自覚症状				
	BCG接種歴				
4	1	(ア) 右心房	右房室弁 もよい。 左房室弁、二尖弁 もよい。	各 3 × 5	18
		(イ) 三尖弁			
		(ウ) 僧帽弁			
		(エ) 左心室			
		(オ) 心室中隔			
	2	心臓震盪	心臓振盪 もよい。	3	
5	1	① (エ)		各 2 × 4	14
		② (ア)			
		③ (イ)			
		④ (ウ)			
	2	(1) 上腕動脈		3	
		(2) スタンダード・プリコーション	スタンダード・プリコーション もよい。	3	
6	1	① (ウ)		各 2 × 4	
		② (エ)			
		③ (ア)			
		④ (イ)			
2	(1) 食物依存性運動誘発アナフィラキシー		3	39	
	(2) アドレナリンには、心臓の働きを強めたり末梢の血管を収縮させたりして血圧を上げ、また、気管支を拡張させ呼吸量を増加させる作用があるから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4		

養護採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
<p>6</p> <p>3</p>	<p>児童本人への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 汗を放置すると皮膚炎を増悪させ、発汗や体温の上昇があるとかゆみが増強することから、汗をかいた後は、医師の指示通り、シャワー浴や汗拭きを行い、薬の塗布を行うよう再度指導する。 長時間の屋外での活動になるため、適宜、テント等日陰で休憩するよう指導する。 汚れた体育着をそのまま使用することは症状の悪化につながるため、必ず着替え、汗やホコリで汚れた体育着は毎回洗い、常に清潔な状態で着るよう指導する。 症状や学校での対応について保健室でいつでも相談できることや、必要に応じて救急処置ができることを伝える。 <p>教職員への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員全体に対し、当該児童は屋外では長袖長ズボンの着用が必要であることやシャワー浴や薬の塗布が必要であること、薬を預かる場合の保管場所等を周知する。 学級担任や授業担当者に対し、当該児童の屋外での服装をその都度確認するよう依頼する。 学級担任や授業担当者に対し、当該児童の授業中や学級での活動、休み時間の様子を観察するとともに、急な変化が見られた場合は速やかに養護教諭に伝えるよう依頼する。 学級担任に対し、当該児童は目につきやすい箇所に炎症が生じるため、校内での個別対応や周囲の協力が必要であることをあらかじめクラスの児童に伝えておくことについて、本人や保護者の意向を確認するよう依頼する。 学級担任に対し、クラスの児童が当該児童への対応を通じて、人にはそれぞれ健康上の特徴がありそのために特別な対応が必要な場合があることや、お互いの思いやりが大切であるということを適切に理解できるよう、指導を依頼する。 <p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健主事と連携し、配慮を要する児童の情報を全教職員が共有できる機会（職員会議等）を企画・運営するなど、教職員一人一人が適切な対応や配慮事項を理解して組織的に対応できる体制整備を行う。 紫外線による症状悪化を防ぐため、休憩時間等の待機場所のためにテント等を設営する。 臀部にも外用薬を塗布する必要があることから、保健室内に、自分で薬を塗ったり、汗で汚れた下着や衣服の着替えを安心してできるよう、カーテンや衝立などで仕切ったプライベートスペースを作る。 かゆみが生じた部位を冷やすことで症状を和らげることができるため、濡らしたタオル、保冷剤などを保健室の冷蔵庫に常備しておく。 	<p>それぞれ2つ書かれていればよい。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	<p>各 4 × 6</p>
<p>7</p> <p>1</p>	<p>生徒本人への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に来室させ、心拍数や血圧を測定しながら、話せる関係づくりを行う。 それまでの体重の経歴や、成長曲線、肥満度曲線を示し、急に体重が減っていること、やせが病的であることを視覚的に理解させる。 体調が悪い時や困ったことがあったら、いつでも保健室に来てよいことを伝える。 身体の状態に目を向けさせるために、思春期の生徒が気にするような症状（月経、髪の毛が抜けてくる、肌がカサカサになる等）を話題にする。 長期的な対応となることが多いため、治る過程の辛さを理解し、本人に寄り添った対応をする 学校医の健康相談や、スクールカウンセラーの面談につなげ、専門家からの話を聞く機会を作る。 	<p>それぞれ2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。</p>	<p>各 3 × 4</p> <p>30</p>

養護採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
7	1 それ以外の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・校内で連携チームを立ち上げ、管理職、学級担任、部活動顧問等と情報を共有し、見守り体制を作る。 ・スクールカウンセラーに情報共有し、必要な時に協働できる体制をつくる。 ・保護者に体調不良が気になることを伝えて面談する。 ・学級担任、保護者等から、食事量や月経の状態、睡眠状態等の情報を収集する。 ・学校医に相談し、学校医の了承のもと治療勧告書を発行する。 				
	2 <ul style="list-style-type: none"> ・からだの症状を話題にし、こちらの心配を伝える。 ・本人の困っていることに焦点を当てる。 ・摂食障害だと決めつけない。 ・受容的態度を心掛け、受診への動機づけを行う。 ・心理的問題を強調しすぎない。 ・緊急時は適切な対応をとることを伝える。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2		
	3 心理面での特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・やせ過ぎていることやからだの不調の認識に乏しい。 ・自己評価が体重や体形に極端に左右される。 ・体重やカロリー数への過剰なこだわりがある。 ・太ることや体重が増えることへの恐怖が強い。 ・お腹がすいていることがわからなくなる。 ・ダイエット者は体重減少に達成感を持つが、摂食障害の場合はいくらやせても達成感が乏しい。 ・周囲から食べるという圧力をかけられていると思っている。 ・食べた後に過剰な罪悪感を持っている。 行動面での特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・体重を減らすための行動の歯止めがきかない。 ・大量に食べたり、隠れて食べることがある。 ・排出行動（下剤乱用・嘔吐）を伴う。 ・学業や部活動の成績の急激な変化を伴う。 ・自傷行為を伴う。 ・過活動（体重が減ってやせているにもかかわらず、過剰な身体活動を行う）を伴う。 ・ダイエットをやめた方がいいといった周囲の忠告を聞かない。 	それぞれ2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4		
8	1 (1) (ア) 風しん (イ) 水痘 (ウ) 咽頭結膜熱		各 3 × 6	30	
					(2) (エ) 特有の咳が消失する (オ) 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になる (カ) 発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過する
	2 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集 ・生徒及び保護者への情報提供 ・生徒の出席停止および学校の閉鎖措置の決定 ・学校行事の延期や対外試合の自粛の検討 		3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		各 3 × 3